

「市民学芸員」募集要項

—官民協働の博物館づくりへ向けた新たな試み—

「市民学芸員制度」とは

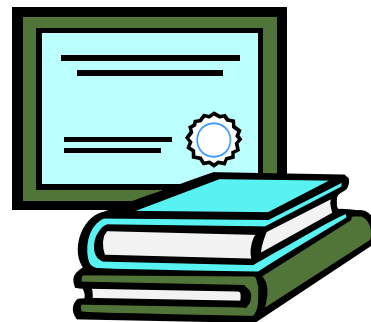
伊達市噴火湾文化研究所は、市民の皆さんが持っている能力を文化行政やまちづくりに活かすべく、市民学芸員制度という研究所独自の資格認定制度を実施することにしました。これは個人が持っている知識や能力に、博物館学という方法論をプラスすることで、より客観的・総合的な見地から価値判断し、それらを活かしていく能力を身につけてもらう制度です。

「市民学芸員制度」の目的は

- 個人が持っている知識と能力を市の文化行政やまちづくりに活かしてもらうことは、行政はもとより、社会全体のメリットとなります。
- 市が予定している伊達市開拓記念館の改築を前に、新たな館の基本プラン作成やオープン後の活用を見据え、これらを企画・実施できる人材を確保することが目的です。
- カリキュラムの一つである博物館実習を受講することで、学芸員の職務や、「文化財の保護と活用」、「文化資源のまちづくりへの活用」といった当研究所の活動を理解して頂きたいと思っています。

資格を得た後はどうなるの？

研究所が行う展示や講演会といった博物館活動に企画段階から関わって頂きます。特に、将来的に行う予定になっている伊達市開拓記念館の改築にあたっては、多くの市民のご意見をいただくこととなりますが、市民学芸員は、より専門的な立場での企画案作成に関わって頂きます。さらに、新たな博物館のオープン後には、自らの専門を活かした特別展示や講演を企画・実施してもらいます。



カリキュラム

下記の3つのカリキュラムをすべて修了すると、伊達市市民学芸員として認定されます。教科を履修する毎に修了書に印が押され、最終的に認定書が授与されます。

1. 教養科目の履修

■伊達市噴火湾文化研究所及び関連団体(伊達市文化財ボランティア・かけはしの会・だて噴火湾アートビレッジ実行委員会・だて噴火湾縄文まつり実行委員会・善光寺フォーラム実行委員会・大雄寺フェスタ実行委員会・噴火湾考古学研究会など)が行う講演会・学会・コンサート・絵画展のうち、3つに参加し、ミニレポート(1,200字程度)を提出します。

■履修に期限は設けません。数年かけて履修することが可能です。

2007年度教養科目一覧

日にち	内容	演者	主催・共催
2007年 9月1日	第10回だて噴火湾縄文まつり・縄文シンポジウム	小林達雄國學院大教授	だて縄文まつり実行委員会
9月2日	第10回だて噴火湾縄文まつり縄文の丘コンサート	縄文カルテット'07(市川映子・佐藤ひろみ 他)	だて縄文まつり実行委員会
9月17日	トヨタ コミュニティコンサート	札幌フィルハーモニー管弦楽団	だて噴火湾アートビレッジ実行委員会
9月19日	野田弘志・永山優子が語るフェルメールの世界	野田弘志・永山優子	だて噴火湾アートビレッジ実行委員会
9月26日 ～30日	東アジアむかしの本ものがたり展	展示	伊達市噴火湾文化研究所・東北大学北東アジア研究センター
9月28日 ・29日	アジア・アフリカ学術基盤形成事業セミナー	磯部彰東北大学大学院教授ほか	東北大学北東アジア研究センター
10月6日	善光寺フォーラム2007	未定	善光寺フォーラム実行委員会
10月	伊達市開拓記念館特別展	展示	伊達市噴火湾文化研究所
2008年 2月	第19回縄文講演会	未定	噴火湾考古学研究会
3月	第20回縄文講演会	未定	噴火湾考古学研究会
3月	縄文の森講演会	未定	縄文スクスク森づくりの会

※この他にも随時追加されることがあります

2. 博物館実習

- 研究所では、毎年8月末～9月初に博物館学芸員養成課程のある大学からの依頼で博物館実習生を受け入れています。これにあわせて、実際の学芸員資格の取得を目指している大学生とともに7日間の実習を受講します。講師は当研究所の学芸員が務めます。
- 内容は、文化財・美術品の取り扱い実習や、展示計画の作成、パネル等展示物の作成実習、出土品整理作業などを行います。
- 応募者が多数の場合は年に数回の実習日を設けます。また、連続7日間の受講や、平日昼間の受講が不可能な方は相談に応じます。
- 2007年度の実習内容は下記のHPで見ることができます。
<http://www.funkawan.net/>



博物館実習のようす

3. 修了論文の作成

- 個人が関心を持っているテーマについて、こだわった論文を作成します。テーマは自由。論文作成時には研究所学芸員がアドバイスをを行います。
- 実際の学芸員には専門分野(歴史・考古・民俗・絵画・生物など)があります。市民学芸員も修了論文の作成を通じて、各自の専門を確立してもらいます。
- 研究成果は展示や講演などに活用されます。

※難しく考える必要はありません！

自分の得意分野でチャレンジしてみてください。

例えば

①お蕎麦好きの方は・・・

「伊達市内のそば屋の研究」

どうして、伊達市内には「手打ちそば」屋が多いのだろう？
こんな疑問を基に、市内のそば屋の創業年や場所を調べ、「手打ちそば文化」の定着の歴史や、そば屋が密集する過程と要因などを分析します。

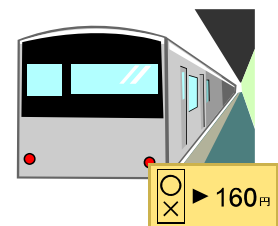
研究成果は新たな観光マップに利用されるかも知れません。



②鉄道マニアの方は・・・

「胆振線の研究」

かつて伊達紋別駅～倶知安駅を結んでいたローカル鉄道について、自らが収集した切符や、切符に付けられた鋏形(はさみがた)などについて研究します。方法は、形や材質などの特徴を基に分類し、時代順・地域別に分けるという「型式学的分類」という方法を用います。自分のコレクションが廃線となった鉄道沿線の歴史を明らかにできるかも知れません。この方法ならば、すぐに博物館での展示が可能です。



応募するには

お電話で申し込みください。下記の連絡先に電話し、市民学芸員制度に応募する旨と、名前と住所・電話番号をお教えてください。

- 対 象 高校生以上。居住地の制限は設けません(道外からの短期移住者も可)。学芸員を志す高校生・大学生も応募可能です。
- 期 間 博物館実習は、毎年8月末～9月初の7日間。ただし、応募者多数の場合は年に数回実習を実施します。他のカリキュラムは期間を限りません。さらに、修了までの年限も設けません。

例) Aさんの場合

2007年8月	博物館実習
9月～3月	教養科目の履修・ミニレポート提出(3回)
9月～3月	修了論文作成(5回ほど論文指導を受ける)
3月	論文提出
4月	認定書授与

- 人 数 制限はありません。将来的に100名以上の市民学芸員を養成したいと思っています。8月末～9月初の博物館実習は5名程度を受け入れますが、状況に応じて実習回数を増やすため、人数に制限はありません。

- 期 限 随時募集しています。

- 申込先 伊達市噴火湾文化研究所文化課 (担当:青野・黒田)

TEL 0142-21-5050 FAX 0142-22-5445

- 参考資料(過去に伊達市で受け入れた博物館実習生の数です)

博物館実習実施状況

実施年	大学	人数
平成11年	東洋大学など	7
平成13年	北海道教育大学	1
平成14年	北海道文教大学	1
平成15年	札幌大学	1
平成17年	東北学院大学など	4
平成18年	立命館大学など	2
平成19年(予定)	札幌大学	1